

一般会計予算決算常任委員会記録

令和5年12月15日

【開催日】 令和5年12月15日（金）

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午前10時～午前10時56分

【出席委員】

委員長	中 村 博 行	副委員長	伊 場 勇
委員	大 井 淳一朗	委員	岡 山 明
委員	奥 良 秀	委員	笹 木 慶 之
委員	白 井 健一郎	委員	恒 松 恵 子
委員	中 岡 英 二	委員	中 島 好 人
委員	福 田 勝 政	委員	藤 岡 修 美
委員	古 豊 和 惠	委員	前 田 浩 司
委員	松 尾 数 則	委員	宮 本 政 志
委員	森 山 喜 久	委員	矢 田 松 夫
委員	山 田 伸 幸	委員	吉 永 美 子

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	高 松 秀 樹		
----	---------	--	--

【執行部出席者】

副市長	古 川 博 三	教育長	長 友 義 彦
総務部長	辻 村 征 宏	企画部長	和 西 穎 行
協創部長	篠 原 正 裕	市民部長	岩 佐 清 彦
福祉部長	吉 岡 忠 司	経済部長	桶 谷 一 博
建設部長兼大学推進室長	大 谷 剛 士	教育部長	藤 山 雅 之

【事務局出席者】

局長	河 口 修 司	局次長	中 村 潤 之 介
議事係長	山 田 寿 実 子	議事係主任	岡 田 靖 仁

【審査日程】

- 議案第68号 令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第8回）につ

いて

2 議案第92号 令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第9回）について

午前10時 開会

中村博行委員長 ただいまから、一般会計予算決算常任委員会を開会します。

本日の審査日程についてはお手元のタブレットにありますとおりに進めてまいります。12月1日に本委員会に付託されました、議案第68号令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第8回）について、各分科会での審査が終了しましたので、分科会長の報告を求めます。では、最初に、総務文教分科会長の報告を求めます。

（伊場勇総務文教分科会長 登壇）

伊場勇総務文教分科会長 それでは、一般会計予算決算常任委員会総務文教分科会、議案件名「議案第68号令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第8回）について」のうち総務文教常任委員会が所管する部分について、12月4日、6日に委員全員出席の下、慎重審査しましたので、御報告します。概要として、今回の補正は、人事異動及び人事院勧告に伴う人件費の調整、歳計剩余金処分による基金の積立て、L A B Vプロジェクト関連事業等取り急ぎ措置すべき案件について行うものです。論点または審査によって明らかになった事項について、まずは歳入からです。1款市税、1項2目法人1億2,000万円の減額は、市内事業所各所において増減の多寡はあるものの、昨年12月からのウクライナをはじめとする世界情勢を起因とする円安ドル高や、原油高及び物価高騰等によって、企業業績に影響が出ていることに伴い減額を見込むものです。次に、2項1目固定資産税1億1,000万円の増額は、一部の事業所において大きな設備投資があったことに伴い増額を見込むものです。次に、18款寄附金、1項1目一般寄附金、1節一般寄附金71万

7,000円の増額は、明治安田生命保険相互会社からの寄附金であり、使途は市に一任することであったため、同額をふるさと支援基金へ積み立てるものです。2節ふるさと寄附金3,000万円の増額は、今年度のサポート寄附額を1億6,000万円と見込み増額するものです。次に、19款繰入金、1項1目財政調整基金繰入金は1,948万6,000円の増額で（後刻「減額」と訂正）、令和5年度末の予算上の残高は、37億2,176万8,000円となるとのことです。主な質疑として、「財政調整基金の推移はどうか」との質問に、「約48億円の残高から今年度当初予算で約12億5,000万円取り崩す予定としていたが、その後何度か補正して、現段階で、約15億3,000万円弱を取り崩している。その一方で、前年度決算を受けた3億3,000万円の積立てと年度末に向けての調整を加味すると、現状の37億円以上の残高を令和5年度末も確保できるものと考えている」との答弁がありました。次に、20款繰越金、1項1目繰越金6億1,657万3,000円の増額は、9月議会において認定した令和4年度決算における剰余金を令和5年度の歳入に編入するものです。続いて、歳出です。人件費全般については、一般会計全体で6,086万4,000円の増額です。人事院勧告及び人事異動に伴う決算を見込んだ調整によるものです。次に、2款総務費、1項8目財産管理費、財政調整基金積立金3億3,000万円の増額は、前年度の決算剰余金の一部を財政調整基金に積み立てるものです。退職手当基金積立金は1億円の増額で、補正後の年度末残高は12億4,767万8,000円となります。次に、1項9目企画費133万2,000円の増額は、LABVプロジェクトにより整備される新施設に移転する市民活動センター及び地域職業相談室について、令和6年4月1日からの供用開始に向けて必要な電話回線工事及びLAN配線の整備を行うものです。1項10目地域振興費3,949万4,000円の増額のうち949万4,000円は、寄附額の増加に伴う経費増加であり、3,000万円はふるさと支援基金に積み立てるものです。主な質疑として、「総務省によるルール改正を受けて、本市のふるさと納税返礼品への影響はどうか」との質問に、「特に地場産基準に非該当となった商

品はない」との答弁がありました。「9月の駆け込み需要後の影響はどうか」との質問に、「10月、11月は前年の6割程度に落ち込んだが、12月以降は例年どおりの水準になると分析している」との答弁がありました。次に、1項21目市民活動推進費347万6,000円の増額は、令和6年4月1日からの供用開始に向けた山陽小野田市民活動センターの開設準備に向け、開設の約2か月前から業務を委託するものです。開設準備業務委託の内容は、予約の受付、予約の状況を確認できるホームページの掲示、チラシなどの広報業務、パンフレット案の作成業務などがあります。次に、7項1目大学費783万3,000円の増額は、普通交付税を運営費交付金や授業料等減免補助金などの事業費に充当した結果の余剰金であり、全額を公立大学法人運営基金に積み立てるもので、予算上の基金残高は、8億8,011万5,551円となります。次に、10款教育費、3項2目教育振興費4万円の増額は、市民からの寄附金を使い、中学校3校と松原分校に学校図書を整備するものです。主な質疑として、「図書整備の具体的な内容は」との質問に、「寄附者の方に確認しながら順次学校に整備し、図書支援員などと協議し選書している。また、寄附で購入したものにはシールを貼って分かるようにしている。」との答弁がありました。最後に、債務負担行為です。市民活動センター指定管理者委託料として、限度額1億9,478万8,000円、次に、きららガラス未来館指定管理者委託料、限度額2億652万5,000円、次に、体育施設指定管理者委託料、限度額2億7,612万8,000円、いずれも令和6年度から令和10年度までの5年間を指定管理機関としております。以上で分科会からの報告を終わります。少し訂正します。歳入の19款繰入金について、1項1目財政調整基金繰入金1,948万6,000円の増額と報告しましたが、減額の誤りです。訂正をお願いします。以上で報告を終わります。

(伊場勇総務文教分科会長 降壇)

中村博行委員長 総務文教分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑

を行います。まずは歳入の部分から、質疑のある方は挙手をお願いします。（「なし」と呼ぶ者あり）そうしたら、歳出全般で質疑を求めますが、項目を示して質疑をお願いします。

山田伸幸委員　歳出の2款総務費、退職手当基金積立金が1億円の増額となっています。補正後の年度末残高まで書かれているんですが、積立金1億円とは、現在いる職員が退職する際に必要となる額を将来に向けて積み立てるものだと承知しておるんですけど、そういった合理的な計算の上で1億円と計算されたのか。その点をどのように審査されたのでしょうか。

伊場勇総務文教分科会長　主な質疑はございませんでしたが、この一般職員について2月、3月に、急遽、退職の意思を表示した職員がいたとは聞いております。分科会でのこの件についての質疑は以上です。

山田伸幸委員　この1億円が妥当なものであるかどうかという質疑はしていないわけですね。

伊場勇総務文教分科会長　その深い内容についての質疑はしておりません。

山田伸幸委員　では、残高が12億4,700万円程度あるわけですけど、残高をどの程度まで積み上げるのか。例えば、国民健康保険は、医療給付費の5%というような、いろんな目安を持っているんですけど、それについては、どのような質疑があったでしょうか。

伊場勇総務文教分科会長　そちらについての質疑もございませんでした。

中村博行委員長　ほかに質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）これをもって質疑を終わります。次に、民生福祉分科会長の報告を求めます。

(奥良秀民生福祉分科会長　登壇)

奥良秀民生福祉分科会長　引き続きまして、議案第68号令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第8回）につきまして、民生福祉常任委員会が所管する部分を報告します。概要としまして、今回の補正は、人事院勧告に伴う人件費の調整、ケアセンターさんよう運営事業等取り急ぎ措置すべき案件について補正するものです。論点または審査によって明らかになった事項につきまして、歳出、2款総務費、1項13目空家対策費446万9,000円の増額は、老朽危険空家等除却促進補助金の申請希望者が、当初見込んでいたより多かったため増額するものです。3項1目戸籍住民基本台帳費、12節委託料1,250万3,000円の増額は、令和5年6月9日に戸籍法の一部改正が公布されたことに伴い、戸籍の記載事項に「氏名の振り仮名」を追加する等の措置を講ずるためのシステム改修を行うものです。主な質疑としまして、「老朽危険空家等の除却は年度内に終わるのか」との質問に、「申請者には、年度内に工事が終わるように業者と調整することを事前にお願いしており、問題ないと考えている」との答弁。「戸籍に係るシステム改修が終われば、すぐに氏名に振り仮名が追加されるのか」との質問に、「国が示しているスケジュールでは、令和8年度に振り仮名が付く予定である」との答弁。3款民生費、1項2目障害者福祉費1億8,871万5,000円の増額は、主に障害福祉サービス等の利用者数、利用時間及び利用日数の増加に伴い増額し、並びに令和4年度に歳入した国・県の負担金及び補助金について精算した結果返還するもの。2項1目児童福祉総務費、18節負担金、補助及び交付金2,954万1,000円の増額は、現在整備中の私立認定こども園施設整備に対する国庫補助金の基準額が変更されたことに伴い増額するものです。主な質疑としましては、「障害福祉サービスの利用者数等が年度途中から増えていることだが、なぜ当初の見込みより大幅に増加したのか」との質問に、「はっきりした原因は特にない」との答弁。「私立認定こども園施設整備に対する国庫補助金の基準額が大きく変わったのはなぜか」との質問に、「昨今、建

築費が高騰したため、また、整備に係る土地の賃借料や仮設建物の建築費が補助対象となることが新たに判明し、計上したため」との答弁。4款衛生費、1項2目予防費192万2,000円の増額は、令和4年度の緊急風しん抗体検査事業における決算が確定したため、補助金を精算するもの。1項3目環境衛生費114万8,000円の増額は、山陽小野田市斎場において火葬に使用する灯油の単価の高騰によるもの。1項7目新型コロナウイルス対策費、12節委託料843万1,000円の減額は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に変更されたことに伴い、地域外来・検査センター事業が令和5年5月7日に終了した結果、検査数が当初の見込みより少なくなったため減額するものです。2項2目塵芥処理費1,422万円の増額は、原油価格等の急激な高騰の影響による処分単価の高騰によるもの。2項3目し尿処理費713万3,000円の増額は、美祢市のし尿等の一部を受け入れていて、小野田浄化センターのし尿処理量が増加したため、その経費分を増額するもの。主な質疑としまして、「塵芥処理はどこに委託しているのか」との質問に、「共英製鋼株式会社に処分を委託している」との答弁。「美祢市からの受託料は足りているのか」との質問「実際にかかった分を請求している。美祢市からの受入れによって大きな故障が生じた場合は、美祢市に請求したいと考えている」との答弁。債務負担行為（追加）としまして、子ども・子育て支援事業計画策定事業、限度額589万6,000円は、令和6年度策定予定の第3期子ども・子育て支援事業計画に係るニーズ調査及びデータ分析を委託するためのプロポーザルを8月に実施したが、応募がなかったため、再度金額面を見直してプロポーザルを行うものです。主な質疑としまして、「子ども・子育て支援事業計画策定事業について、プロポーザルに応募がなかった理由は何か」との質問に、「事業者からは、他のいろいろな福祉計画と策定期が重なっているため、人手が足りなかったためと聞いている」との答弁。最後に、斎場指定管理者委託料、限度額1億7,578万円は、令和6年度から令和10年度までの指定管理者候補者の指定管理料提案額に消費税を加えたものになっております。以上で民生福祉分科会から

の報告を終わります。

(奥良秀民生福祉分科会長 降壇)

中村博行委員長 民生福祉分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑は全般にわたって行いたいと思いますので、項目を示して質疑をしてください。

中島好人委員 総務費の中の空き家対策費 446万9,000円の増額は、当初見込んでいたよりも多かったということなんですけども、どのぐらい多くて、希望者に全部対応できたのか。2点についてお尋ねします。

奥良秀民生福祉分科会長 当初予算では、11件の予算を……すみません、訂正します。もう一度最初から行きます。当初予算は500万円を計上しておりましたが、令和5年8月末時点で申請件数が11件ありまして、交付金額が469万9,000円となっておりました。その後、希望者が多数ということで、このたび限度額として1件につき50万円の9件分として450万円を増額しております。

中島好人委員 障害者福祉費 1億8,871万5,000円の増額も、利用者等が増加したという理由ですけども、増加した件数等についてお尋ねします。

奥良秀民生福祉分科会長 先ほど、会長報告としましては、特段何が一番の増加理由かということはないと言いましたが、「使いやすくなったりとか、使ってみてよかったですとかが口コミで増えたといったことが主な要因で増加しています」という答弁を受けております。

中島好人委員 使いやすいというのは分かりましたけど、具体的に件数はどのぐらい増えたかをお尋ねします。

奥良秀民生福祉分科会長 すみません、暫時休憩していただきて、議事録を確認させていただきたいと思います。

中村博行委員長 では、暫時休憩します。

午前10時23分 休憩

午前10時24分 休憩

中村博行委員長 では、休憩を解きまして、委員会を続けます。

奥良秀民生福祉分科会長 すみません。かなりたくさんあります。例えば、居宅介護で、自宅で入浴、排せつ、食事等の介助をヘルパーで行うものとして、当初22人と見込んでおりましたが、利用者が増えたため予算を補正しております。また、療養介護、医療と併せて常時介護を要する方に対して医療機関で介護及び日常生活上の支援サービスを行うものとして、当初10人で見込んでいたものが、利用者数が11人になったために予算を増額補正しております。また、グループホーム等夜間や休日に共同生活を行う住宅で、入浴、排せつ、食事、介護など、日常生活の支援を行うものとして、当初67人で見込んでいたものが、利用者数が73人に増え、さらに、新規相談も受けていることで予算を増額補正しております。また、生活介護では、日中施設で入浴、排せつ、食事等の介護を行うとともに、創造的な活動や生産活動の機会を提供するサービス、介護保険のデイサービスをイメージしていただいたようなものですが、当初163人と見込んでおりました。こちらも、新規利用の相談も受け、予算を増額補正しております。その他としましても、多岐にわたる支援内容がありまして、そのようなことを勘案しまして予算を増額補正しております。

中村博行委員長 ほかに質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）これをもって質疑を終わります。最後に、産業建設分科会長の報告を求めます。

（藤岡修美産業建設分科会長 登壇）

藤岡修美産業建設分科会長 それでは、議案第68号令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第8回）における産業建設常任委員会が所管する部分について、12月5日に委員全員出席の下、慎重審査しましたので、報告します。概要です。今回の補正は、人事異動及び人事院勧告に伴う人件費の調整、道路橋りょう総務費の増額など、取り急ぎ措置すべき案件について補正するもの。論点または審査によって明らかになった事項。歳出。8款土木費、2項1目道路橋りょう総務費、小規模土木事業助成金 510万円の増額は、7月の豪雨や物価高の影響により予算不足が生じるため増額補正するもの。2項3目道路橋りょう維持費、修繕料 770万円の増額は、市道の維持管理に関する修繕費用が不足するため、増額補正するもの。5項1目都市計画総務費、公共下水道事業負担金 748万2,000円の減額、公共下水道事業補助金1万円の減額、公共下水道事業出資金297万8,000円の増額は、下水道事業における人事異動及び人事院勧告による人件費の調整並びに雨天時浸水対策の追加工事の実施に伴うもの。主な質疑として「小規模土木事業の実施状況は」との質問に、「令和4年度までに申請のあった事業は今年度実施する予定である」との答弁。11款災害復旧費、2項1目道路橋りょう河川災害復旧費、補償金250万円の増額は、災害復旧工事の実施に当たり支障となる電柱移設の補償金を増額補正するもの。主な質疑として「災害復旧工事に伴う電柱移設の補償金は市が払うのか」との質問に、「そのとおりである」との答弁。債務負担行為補正の追加として、竜王山公園オートキャンプ場指定管理者委託料、限度額3,756万円、令和6年度～令和10年度。北部地区都市公園外施設指定管理者委託料、限度額2億3,468万円、令和6年度～令和10年度。以上で報告を

終わります。委員各位の慎重審査をよろしくお願ひします。

(藤岡修美産業建設分科会長 降壇)

中村博行委員長 産業建設分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はありませんか。

山田伸幸委員 小規模土木の件ですが、令和4年度までに申請のあった事業は今年度実施する予定であるということで、全部片を付けるということなんですが、実際、申請件数が令和4年度、5年度でどの程度あって、どの程度まで着工できるのでしょうか。

藤岡修美産業建設分科会長 資料によって、令和4年度以前の申請が46件、令和5年度の申請件数が50件、辞退と取下げが5件で、本年度実施件数は60件を見込んでいて、待機件数が31件との説明がありました。

山田伸幸委員 小規模土木は、自治会によっては緊急性があることから申請しているわけですけれど、こちら側の判断と事務局との判断で差があった場合、実施されないわけですよね。そういう実情を審査されたのでしょうか。

藤岡修美産業建設分科会長 そういう緊急性に係る審査は、本分科会では行っておりません。

中村博行委員長 ほかに質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）これをもって質疑を終わります。それでは、討論に入る前に、執行部の出席を求めて若干の休憩を挟みます。10時45分から再開しますので、定刻までに御参集をお願いします。それでは、休憩します。

午前 10 時 32 分 休憩

(執行部 入場)

午前 10 時 45 分 再開

中村博行委員長 休憩前に引き続き、委員会を続けます。それでは、議案第 68 号令和 5 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 8 回）についての討論を行います。討論はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論なしと認めます。これより、議案第 68 号について、採決します。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

中村博行委員長 全員賛成により、本件は可決すべきものと決しました。続いて、12月11日に本委員会に付託されました議案第 92 号令和 5 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 9 回）について、各分科会での審査が終了しましたので、分科会長の報告を求めます。最初に、民生福祉分科会長の報告を求めます。

(奥良秀民生福祉分科会長 登壇)

奥良秀民生福祉分科会長 それでは、議案第 92 号令和 5 年度山陽小野田市一般会計補正予算（第 9 回）につきまして、民生福祉常任委員会が所管する部分を報告します。概要としまして、今回の補正は、物価高騰等による負担感が大きい低所得者世帯を支援する給付金の事業費や国民健康保険特別会計への繰り出しに係る経費を計上するなど、取り急ぎ措置すべき案件について補正するものです。論点または審査によって明らかになった事項としまして、歳出、3 款民生費、1 項 10 目物価高騰対策住民税非課税世帯支援給付金給付事業費 6 億 560 万 8,000 円の増額は、国から交付される物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金のうち低所

得世帯支援枠を利用して、1世帯当たり7万円を支給するものです。主な質疑としまして「支給までのスケジュールはどのようにになっているか」との質問に、「議会で可決された場合には、速やかに住民税均等割非課税世帯の抽出に係るシステム開発の契約を締結する。その後、対象者に対して必要書類を1月中旬までに発送し、返送された確認書や受給拒否届出書を確認して、2月上旬に振込を開始する予定である」との答弁。

「確認書の提出期限はいつまでか」との質問に、「3月下旬までとする予定である」との答弁です。以上です。

(奥良秀民生福祉分科会長 降壇)

中村博行委員長 民生福祉分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はありますか。

中島好人委員 低所得世帯支援枠として1世帯当たり7万円を支給するということですけども、全部の世帯数は何件になるんでしょうか。

奥良秀民生福祉分科会長 8,500世帯になっておりまして、11月までの3万円給付のものに0.8を掛けた数字になっております。

中村博行委員長 ほかに質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）これをもって質疑を終わります。最後に、産業建設分科会長の報告を求めます。

(藤岡修美産業建設分科会長 登壇)

藤岡修美産業建設分科会長 議案第92号令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算(第9回)における産業建設常任委員会が所管する部分について、12月11日に委員全員出席の下、審査しましたので報告します。まずは概要です。今回の補正は、国の経済対策において示されていた物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金について、その事業概要等が明らか

にされたことから、物価高騰等に直面する市民生活を支援し、地域における消費を喚起する商品券発行事業費の財源として活用するもの。論点または審査によって明らかになった事項として、歳出、7款商工費、1項2目商工振興費、商品券発行事業の財源内訳の変更で、一般財源1億2,835万4,000円を物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に変更するもの。主な質疑として、「商品券の換金の状況は」との質問に、「11月末時点で、発行総額約2億4,000万円の65%が換金済みである」との答弁。「専用券の割合は」との質問に、「発行総額約2億4,000万円のうち、1億5,000万円が専用券である」との答弁。以上で報告を終わります。委員各位の慎重審査をよろしくお願ひします。

(藤岡修美産業建設分科会長 降壇)

中村博行委員長 産業建設分科会長の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はありませんか。

山田伸幸委員 今回は市が用意した資金から新たな交付金を活用するということなんですが、やはり、いまだにといいますか、物価高騰に苦しむ市民も多いわけですから、単なる財源の付け替えではなく別の形で支給するような方策を取られるような考えはなかったんでしょうか。

藤岡修美産業建設分科会長 今回の審査内容につきましては、一般財源から国の交付金への振替が審査の主な中身でして、そういったことについての審査はございませんでした。

山田伸幸委員 できたら、まだまだ行き渡っていないということありますので、市民に対して、きちんとした、本来の交付金の使い方がされるべきではないかと思います。それに関して、興味深いのが、いまだに65%しか換金できていないという点で、スマイルチケット事業に対する期待

感のようなものが薄れているのではないかと思うんですが、そういうふた審査はされたでしょうか。

藤岡修美産業建設分科会長 審査はございませんでしたけれども、山田委員の意見は今後の審査の参考にしていきたいと考えております。

山田伸幸委員 65%と報告があったわけですから、もっともっと広報を強めるなどして、市民の皆さんに残りの分を使い切っていただくようにしないと、この交付金が、本人だけじゃなく中小業者振興に回らないんじゃないかなと思うんですが、その辺はどのように審査されたでしょうか。

藤岡修美産業建設分科会長 その辺りの深い審査は行っておりません。

中村博行委員長 ほかに質疑はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）以上で質疑を終わります。それでは、議案第92号令和5年度山陽小野田市一般会計補正予算（第9回）についての討論を行います。討論はありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論なしと認めます。これより、議案第92号について採決します。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

中村博行委員長 全員賛成により、本件は可決すべきものと決しました。以上で、一般会計予算決算常任委員会を散会します。

午前10時56分 散会

令和5年（2023年）12月15日

一般会計予算決算常任委員長 中村博行